

研究機関：広島大学

研究課題名	患者自己調節鎮痛法（経静脈と経硬膜外）による鎮痛効果および合併症の検討
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科麻酔蘇生学 教授 河本昌志
研究期間	2018年12月14日(倫理委員会承認後)～2022年4月1日
対象者	2015年4月から2020年4月の間に、広島大学病院で術後鎮痛として経硬膜外患者自己調節鎮痛法もしくは経静脈患者自己調節鎮痛法を受けた患者。
意義・目的	自施設の術後鎮痛管理について検討し見直すことが本研究の目的です。侵襲の大きい手術では術後に患者自己調節鎮痛法（経静脈と経硬膜外）を行います。その合併症の頻度や発生状況を把握することは、安全管理や予防や対策を考える上でも重要であると考えます。また、鎮痛法は外科サイドからのリクエストや過去のデータを元に、管理方針を随時修正されています。本研究は、それらの修正がもたらす得失について検討するものである。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、性別、術後の痛みの程度、血液検査（手術の前後に必要な応じて行われている検査の検査値）、PCAの合併症（吐気、眠気、呼吸抑制、せん妄）手術時間、術後の入院期間です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医歯薬保健学研究科 麻酔蘇生学 教授 河本 昌志
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。(モニタリング有の場合)ただし、モニタリングのためプライバシーが保護されることを条件に、研究者から業務委託された者が、あなた個人を特定できる形で診療情報を閲覧することがあります。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 Tel:082-257-5267 広島大学病院麻酔科 職名 助教 三好寛二